

平成31年度HPCI第二階層計算資源の利用内訳 資料3

平成31年度HPCI共用計算資源配分方針(案)

- 「京」が停止することを踏まえて新規に確保されるHPCI第二階層計算資源については、「京」の配分方針と同様に、一般利用枠とポスト「京」研究開発枠を45:40の比で配分する

a:平成31年度追加で確保されるHPCI第二階層計算資源

b:HPCI第二階層計算資源
H30年度利用分

資源提供機関 A



資源提供機関 B



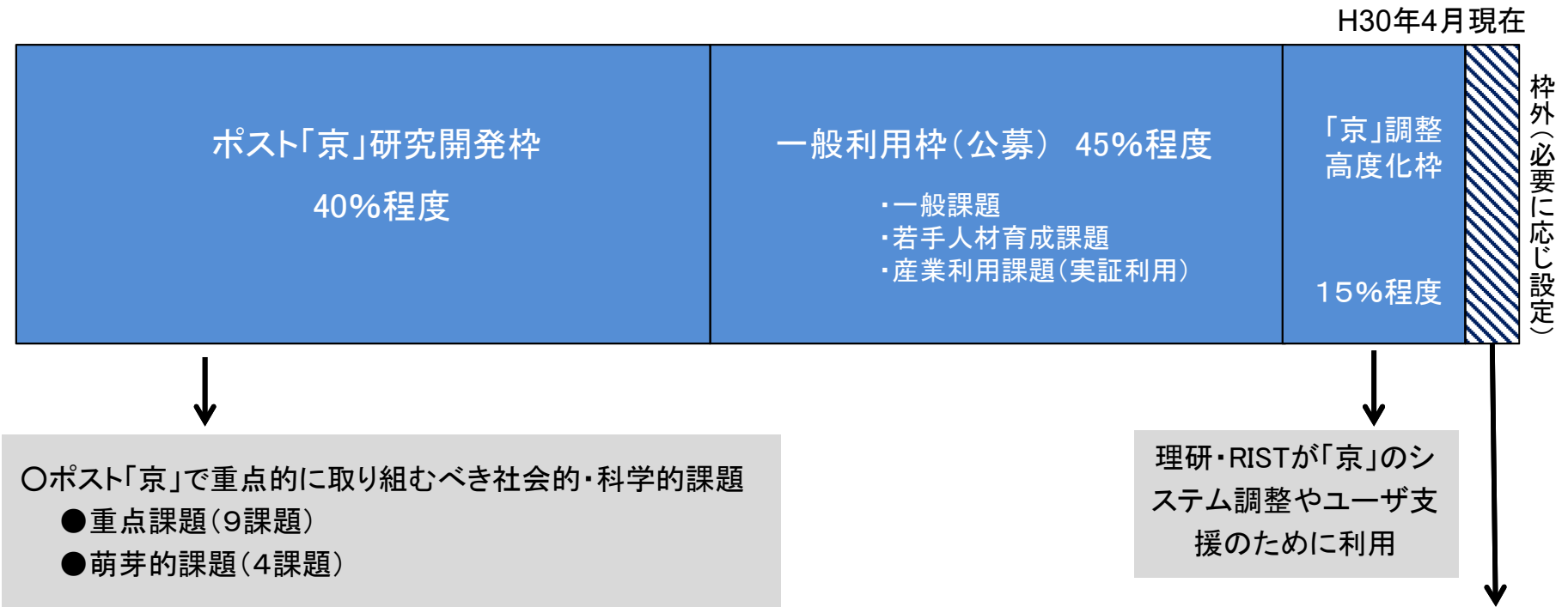
$a \times 40/85$

ポスト「京」研究開発枠

$a \times 45/85 + b$

平成31年度HPCI第二階層計算資源
一般利用分

(参考1)「京」の計算資源の利用内訳



- (一般課題)競争的資金等獲得課題(有償)
(一般・産業)トライアル・ユース(無償)
(産業利用)成果非公開での利用(有償)
- 重点化促進枠
政策的に重要かつ緊急な課題に利用(HPCI計画推進委員会で審査)等
- 利用実績
内閣府政策統括官(防災担当)
平成27年度:「南海トラフの巨大地震及び首都直下地震による被害予測の高度化(長周期地震動)」
平成29年度:「相模トラフ沿いの巨大地震に伴う長周期地震動による被害予測の高度化」

平成30年6月12日第35回HPCI計画推進委員会 資料3-2より抜粋、加工

(参考2) 我が国の計算科学技術インフラ

スーパーコンピュータ「京」を中核として、国内の大学等のスパコンを高速ネットワークでつなぎ、多様なユーザーニーズに応える環境（HPCI；High Performance Computing Infrastructure）を構築し、全国のユーザの利用に供する。

